

第4回板橋区再犯防止推進計画検討部会について

1 開催日時

令和7年12月22日(月) 午前10時～

2 当日の議題

板橋区再犯防止推進計画の原案について

3 主な意見・感想等

(1)地域における課題認識

- 再犯要因として孤立が主要因の一つと認識している。
- 若者は若者がいる場所にしか行かない傾向があり、支援側が「居場所」と考える場が当事者からどう見えるかの再点検が必要。
- 罪を犯した人は社会で排除されやすい属性である。

(2)支援体制の構築に向けた意見

- 社会復帰した人と関わりを継続できるよう、地域の拠点(つながりの場)が必要。
- 背景に生活課題が複合しており、福祉だけでなく制度横断の連携が必要。
- 息の長い支援、切れ目のない支援が重要。
- 社会資源は区内で完結せず、区外資源も前提に考えるべき。
- 子どもの頃からの対応(早期介入)が必要。

(3)再犯防止に向けた支援の方策

- 支援は当事者目線で設計する必要がある。
- 対象者を早期に就労支援へつなぐことが重要。
- 再犯要因として孤立が主要因の一つであり、地域社会とのつながりが再犯抑止につながる。
- 自らが選択できる多様な居場所が必要である。